

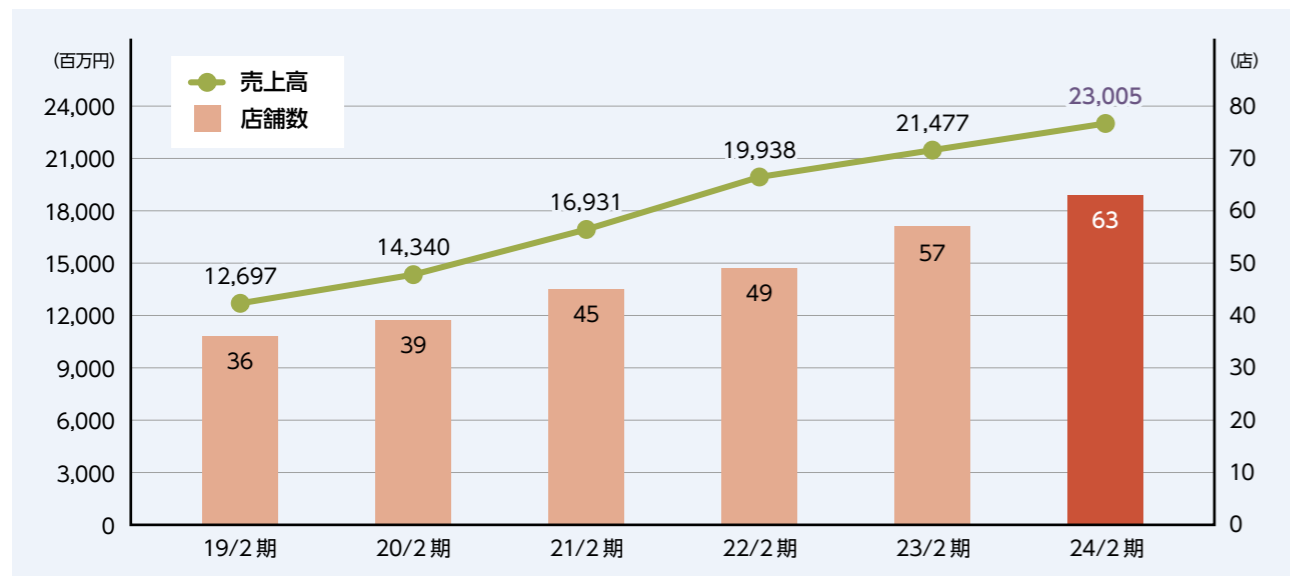
グループ会社の取り組み



工具・金物・作業用品の専門店
ホダカ株式会社

プロユースに特化した専門店として、積極的に店舗展開

ホダカ株式会社の売上高と店舗数推移



ホダカ株式会社は、2008年にプロの職人さんにターゲットを絞り、リアル店舗にこだわり事業を開始しました。日本の匠文化の発展、日本人特有の繊細な職人技術の継承に貢献することが事業の目的です。

それぞれの分野でこだわりを持つ職人さんに一流の仕事をしてもらうため、知識を備えた「一流の従業員」が接客し、堅牢で長く使えて見た目も美しい「一流の商品」を揃え、分かりやすく買やすいそして在庫も十分ある「一流の売場」で実際手で触れながらお選びいただき、職人さんの立場に立って一緒に考え問題を解決してきました。

チェーンストアでありながら、各地域にお住まいの職人さんに合わせた品揃えに大胆に変更していき、もっともっと職人さんに輝いてもらうため前進していきます。



ホダカ株式会社
代表取締役社長
本田 桂三

ホダカは、丈夫で長持ちする美しい一流の商品の品揃えと見やすい・分かりやすい・買やすいと誰もが感心する一流の売場で、豊富な商品知識・業務知識を身につけた信頼できる一流の従業員が応対し、職人さんが現場で輝いて一流の仕事をしてもらうためのプロ向け専門店です。

ホダカ株式会社は全国26道府県で63店舗を運営し、売上高は230億円を超えています(2024年2月末時点)。職人さんの中には、全国の現場を移動して働く方々も多いこと、出店のない隣県からホダカに来店していただけるお客さまもいらっしゃることから、いち早く47道府県に出店し、職人さんのニーズにお応えしていきたいと考えています。

人材育成を継続的に行い、常に高い水準で職人さんのニーズを満たす商品・サービスを提供し続けるとともに、ダウンサイジングしたDCM既存店への出店、あるいは工具・作業用品をベースに商品構成を絞り込んだ超小型店フォーマットの居抜き出店といった新たな出店形態に挑戦することで出店ペースを加速させ、2030年度末までに全国120店舗への拡大を見込んでいます。

全国を忙しく飛び回る腕の良い職人さんにとって、現場のすぐそばで寄り添える存在となれるよう、店舗網を拡大しつつ品揃え・サービスを充実させて事業の成長を加速していきます。



ホダカ鈴鹿店



ホダカ川崎梶ヶ谷店

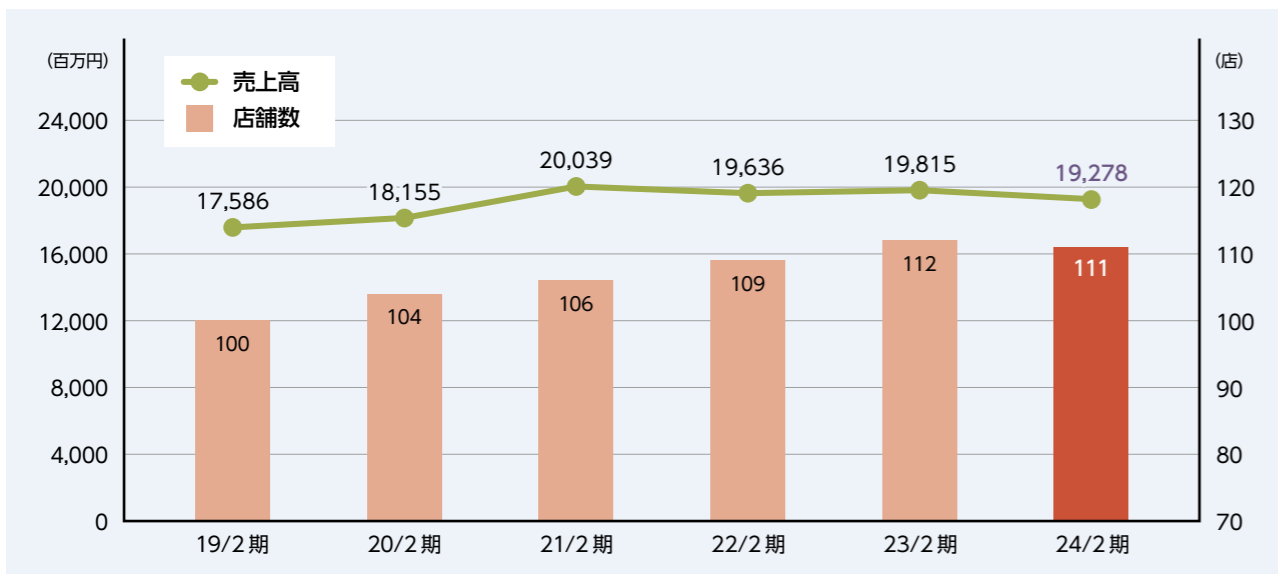
小商圏型ホームコンビニ

DCMニコット株式会社



地域の特性を考慮した品揃えで お客さまの利便性を追求

DCMニコット株式会社の売上高と店舗数推移



当社は、前身の「つるや金物店」として函館に創業し、2024年をもって75年を迎えました。当社を支えてくださっている全てのステークホルダーの皆さまに感謝申し上げます。

コロナ禍の影響で、人口の都市部集中から「地方の可能性」が見直されてきています。これまで以上に各地方団体との連携を強化し、お客さまに支持されるお店づくりや積極的な出店を通じて地方活性化を推し進めてまいります。

また、2024年度は第2次中期経営計画（2023～2025年度）『挑戦』の2年目となります。ヒト・モノ・コト全てに挑戦し、更なる長期的な企業価値向上に努めます。



DCMニコット株式会社
代表取締役社長
高橋 英敏

「小さなまちに大きな便利を届けます。」をコンセプトに、お買い物に困難な地方のまちへ積極的に出店しています。ホームコンビニ（ホームセンターとコンビニを組み合わせた造語）として普段の暮らしに必要なものを提供できるように、生活必需品に加えて、よく使う道具や資材、季節の商品、衣料、食料品、家具、家電製品も揃う便利な店舗を目指しています。また、地域密着の観点では、季節性やローカルブランドなども意識し、どの店舗も均一な品揃えではなく、店舗ごとに地域の特性を考慮した品揃えにしています。特に食料品の品揃えでは、地元企業と連携してその地域でしか味わえない商品もご用意しています。

DCMニコットは、大きく分けて2つの店舗タイプがあります。食料品を取り扱う店舗タイプと、取り扱わない店舗タイプです。競合店の有無や差別化による集客力向上を図ることを目的に店舗タイプを使い分けています。

DCMニコットで取り扱いのない商品は、DCMグループのECのしくみを活用してスピーディーにお客さまへ商品をお届けすることで、お客さまに利便性を提供し、DCMグループとしてのシナジーを発揮できるようにしています。

お買い物が困難な地方のまちでも、DCMニコットがあることでお客さまの暮らしが豊かになり、日常生活の楽しみが増え、お困りごとが減少し、喜んでいただけるよう今後も継続的な出店を計画しています。また、出店した地域にいつまでもDCMニコットの店舗があり続けられるように、ローコストオペレーションの更なる追求や業務マニュアルの徹底を行い、地域の暮らしを支えます。



DCMニコット常陸緒川店



DCMニコット大蔵店

家電中心のECサイトを運営

エクспライス株式会社

DCMグループへ参画後2年が経過し、DCM株式会社（以下、DCM）とエクспライス株式会社（以下、エクспライス）双方にシナジー効果が表れています。プライベートブランド（PB）家電製品「MAXZEN」のDCM店舗での販売、DCM・エクспライス双方で仕入先の開拓、両ECサイトでの拡販により、順調に収益が改善しています。これらを今後も加速させ、さらに品種拡大、経営資産の共有・活用（IT・人材・プラットフォーム等）を進め、EC効果の最大化と効率化を実現します。また、ECサイトで住宅設備工事・サービスの提供等、新たな取り組みや事業の拡大を進め、DCMグループのEC部門として成長します。



エクспライス株式会社
代表取締役社長
清水 敏光

エクспライスは2004年の創業以来、家電を中心に幅広い商品を販売するEC専門事業会社です。社名は「Xtreme（エクストリーム）=究極」と「PRICE（プライス）=価格」の2つを組み合わせた造語で、「家電ECならではの究極のサービスを、信頼できる価格で提供する」という想いが込められています。

エクспライスが運営するECサイト「XPRICE」は外部モールにも出店し、楽天市場など複数のモールから連続で受賞するなど、EC業界で高い評価を受けています。家電を柱としたこだわりの品揃えに加え、購入商品の設置や取り付けサービス、効率的な配送を実現する物流センター、自社運営のカ

スタマーセンターが、お客様の「お得・安心・便利」をサポートします。

また、「MAXZEN（マクスゼン）」は、エクспライスが家電通販で培った経験を活かし、お客さまから本当に必要とされるものをつくるために生まれたシンプル家電（ジェネリック家電）のプライベートブランド（PB）製品です（P47参照）。

DCMグループにエクспライスが加わったことで、「生活快適化総合企業への変革」に向け、リアル店舗とオンライン店舗の両面でお客さまの利便性向上や新しい価値創造を推進していきます。



お客さま満足度
98%
※2023年度平均
価格.comショップ評価



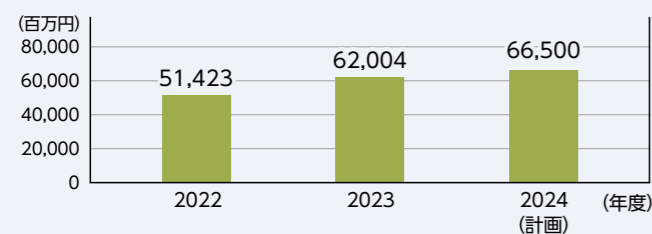
受賞歴
40回
楽天市場・
Yahoo!ショッピングなど
※2023年実績



楽天市場総合ランキング
2位
約55,000店
※2022年実績



エクспライス株式会社の売上高推移（連結）



※2022年度は決算期変更により10ヶ月間の実績となります。



即日出荷と短納期をかなえる最新鋭の大型物流センター

コラム

MAXZENのご紹介

MAXZEN

MAXZEN（マクスゼン）は、DCMグループで家電を中心とした日本最大級のECサイト「XPRICE」を運営するエクспライスのプライベートブランド（PB）家電製品です。MAXZENは「MAX」=最大限、「ZEN」=禅という2つの言葉を組み合わせた造語で、「最大級のゆたかさを、削ぎ落とした価格で提供する」という想いを込めています。

MAXZENは、お客さまの本当のニーズを見極めたうえで、機能と価格のバランスを徹底的に追求したシンプルな製品を提供することを信条にしています。そのため、開発段階では家電量販店でお客さまとの豊富な対話経験を持つ従業員の視点も反映しています。また、品質管理においても、設計や使用する部品の指定、包装まで厳しい製造委託基準を設けており、担当者による工場の現地視察も行っています。有力なパートナーとの長年にわたる信頼関係のもと、高いクオリティを安定的に確保する体制を確立しています。

MAXZENは2013年度に液晶テレビを上市したことを皮切りに、冷蔵庫・洗濯機といった大型家電製品を得意分野にしています。大型家電製品であっても全国のお客さまへスピーディーに納品できる物流体制や日本人スタッフが電話で対応するアフターサービスを含め、お客さまから高い評価をいただいています。商品ラインナップとしては大型家電製品に加え、掃除機や加湿器などの小型生活家電製品やキッチン家電製品などの21カテゴリーで約250品目を展開し、累計販売台数は168万台を突破しました。「余計な機能を省略することで、価格を抑えるシンプルな家電製品」というコンセプトが一般社団法人ジェネリック家電推進委員会で評価され、「ジェネリック家電製品大賞」を2年連続で受賞*しています。

今年度からDCM店舗のみで販売する製品の供給を開始し、連携強化を図りました。今後は、物流面においても連携を強化し、コストパフォーマンスの更なる追求に取り組んでいきます。

* 第7回ジェネリック家電製品大賞 AV家電部門賞受賞
第8回ジェネリック家電製品大賞 生活家電部門賞受賞

MAXZENの製品例

